



人間は、どうして男と女に分かれているの

世の中には男性と女性しかいない

人間は女性と男性とに分かれています、イヌやネコなど、ほかの動物も雄と雌に分かれており、植物も、お株とめ株や、お花・め花、おしべ・めしべなど、雄と雌に分かれています。このように、わたしたちがすんでいる地球上の生き物には、女性と男性もしくは雄と雌しかおらず、その中間はありません。

地球上の生き物が、女性と男性、または、生き物の雄と雌に分かれていますのは、自分たちの子ども、子孫を残すのにつごうがいいからです。

女性と男性の役割がわかれているのは

地球上の生き物である、女性と男性、または、生き物の雄と雌の役割は、はっきりと分かれています。人間やその他の生き物は、自分たちの子孫を残すときに、自分たちの仲間が、いつまでも続いていくように、遺伝子というものを、子どもにわたしています。

遺伝子は、親の体の特徴などを、子どもに伝えるための、設計図のようなはたらきをするものです。親からこの設計図をもらった子どもは、親と同じような特徴をもった生き物になるのです。

ところが、この遺伝子は、女性と男性、雄と雌の、どちらかひとりの親から、ひとりの子どもへと、そのまま受けつがれるわけではありません。遺伝子は雄と雌の両方から、半分ずつ子どもへわたされるのです。

こうすることによって、子どもは、親と同じような特徴をもつとともに、親とはちがういろいろな特徴ももった、生き物になるというわけです。(監修・保志 宏)

